

中国地域の研究開発課題名及び研究代表者等

※【地域ICT振興型研究開発】プログラム

課題名	地域活性化政策立案のための音響信号による“賑い度”調査プラットフォームの研究開発
研究代表者	阿部 匡伸（岡山大学大学院 自然科学研究科 教授）
研究分担者	原 直（岡山大学大学院 自然科学研究科 助教） 黒田 克己（株式会社リオス 本社技術部長） 小野 勉（株式会社リオス 本社技術部 チーフエンジニア） 前川 雄祐（株式会社リオス 本社技術部）
概要	スマートフォンで収録した音響信号を、音の種別の識別器により音声、車の音、その他の騒音に分類し、これと騒音レベルとを組み合わせることで「賑い度」を推定する。また、スマートフォンのセンサ情報により歩行中、操作中の状態を判別するとともに、ノイズとなる音（足音、画面をタップする音）の周期性、周波数特性、パルス状の時間振幅を利用してノイズとなる音を除去し、スマートフォン操作中でも正しい賑い度を推定する。
研究期間	3か年度

課題名	訪日外国人旅行者を対象とした地域情報マイニング技術の研究開発
研究代表者	難波 英嗣（広島市立大学大学院 情報科学研究科 准教授）
研究分担者	竹澤 寿幸（広島市立大学大学院 情報科学研究科 教授） 奥村 学（東京工業大学 精密工学研究所 教授） 倉田 陽平（首都大学東京 都市環境科学研究科 准教授） 石野 亜耶（広島経済大学 経済学部ビジネス情報学科 助教）
概要	開かれた真の国際都市の形成実現のため、訪日外国人旅行者を対象にして、旅行ブログエントリーから抽出される旅のノウハウに関する情報について、地域固有のものか、あるいはより広範囲に関するものかを自動分類、旅行者に提供する情報インフラを開発する。
研究期間	2か年度

※ICTの利活用によって地域貢献や地域社会の活性化を図るために、地域に密着した大学や、中小・中堅企業が提案する研究開発を推進する競争的資金支援プログラム。